



桜ヶ丘

学校だより 水沢小学校
十日町市馬場丁1641
Tel 025-758-2014

児童集会① あいさつをがんばろう

1月26日（火）の児童集会では、11月に行われた中学校区の絆集会で6年生が考えたことをもとに、次のように全校に「あいさつ」を呼びかけてくれました。

全校の皆さんこんにちは。私たち6年生は、2学期に水沢小学校のあいさつについて考えました。11月には、水沢中学校のみなさんや馬場小学校の5、6年生も水沢小学校のあいさつをよくする方法を考えてくれました。

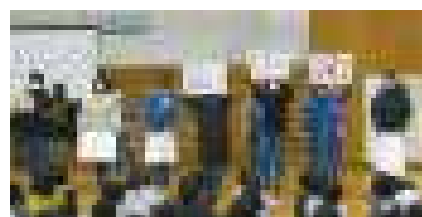
私たちが考えた水沢小学校のあいさつで特に課題になっているのは2つです。

1つ目は、「下を向いて歩いている」という課題で、「友達と一緒にあいさつしてみる」という解決策が出されました。2つ目の課題は、「恥ずかしくてあいさつできない」です。「目を見なくてもいいからあいさつをしてみる」「勇気を出して自分からあいさつしてみる」「親やきょうだい、仲のよい友達など身近な人からあいさつしてみる」という解決策が出されました。

あいさつをしたときやされたときはうれしく、あいさつを返したくなったり、スッキリとした気持ちになったりします。ですが、あいさつをしなかったときや返されなかったときは、悲しくなったり暗い気持ちになったりします。

次にあいさつの大切さについて話します。あいさつは、大人になってからも必要で、あいさつができないと大人になってからマナーを守れていないと思われてしまいます。あいさつは恥ずかしいことではなく、しないことの方が恥ずかしいことなのです。

3学期も残り40日を切りました。スッキリとした気持ちで新しい学年を迎えられるように、あいさつを頑張りましょう。



発表する6年生



6年生の話を聞く1～5年

以前10名ほどの6年生に「水沢小学校はどんな学校ですか」と尋ねたことがあります。ほとんどの子どもが「あいさつをがんばっている学校です」「自分たちが低学年だった頃より、あいさつがかなりよくなっていると思います」と答えてくれました。今回の発表からも、子どもたちがあいさつの必要性を十分理解し、自分たちの力でよりよく変えていこうとしていることが伝わってきました。

児童集会② 学校給食週間の取組

児童集会のもう一つの内容は、給食委員会の発表でした。水沢小学校では、1月25日から29日までを、「学校給食週間」と位置付けています。

例年、給食センターの調理員の皆さんや給食で使う野菜等を作ってくださっている水沢地区の生産者の皆さんと子どもたちが交流し、感謝の気持ちを伝える会を行っています。しかしながら、今年度は、何れも実施できる状況ではないため、次のような活動を給食委員会が考えてくれました。



説明する給食委員会の子ども

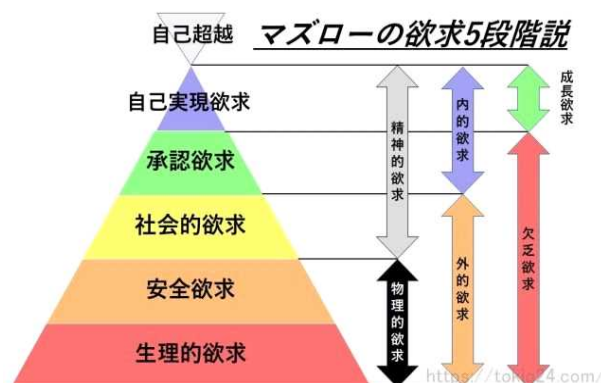
- ・児童集会で給食調理員さんや給食ができるまでの様子の紹介（映像と説明）
- ・給食に関するクイズ
- ・全校でお礼の手紙を書く（1～3年は調理員さん、4～6年は生産者の方へ）

「ありがとう」を伝えることは、水沢小学校が大切にしている活動の一つです。様々なボランティアの皆さんへのお礼、指導者へのお礼など機会あるごとに手紙を書いたり、言葉で伝えたりしています。その中で相手を思う気持ちが育まれていると思います。

子どもの発達段階を踏まえて

以前、子どもの心の問題を専門にしている医師の方からお話を聞く機会がありました。その中のひとつに、マズローの欲求5段階説（右図参照）というものがありません。ポイントは土台部分にあり、子どもの発達には基本的な欲求が十分満たされていることが大切で、段階を飛ばしてもうまくいかないとのことでした。

最も基本的な「生理的欲求」とは、生命を維持するために必要な欲求です。具体的には、「食事」「睡眠」「排泄」などがあげられ、これらが満たされないと「不快感」や「苛立ち」、「体調不良」につながっていくのだそうです。子どもたちにとって、土台となる「生理的欲求」や「安全欲求」が十分満たされることがいかに大切であるか、改めて考えさせられました。生活習慣に関わる部分です。「元気アップ週間」などを通して取組を進めているところですが、各ご家庭で継続して一層の習慣の改善を図り、子どもたちの望ましい発達をご支援いただければと思います。



- ・土台が重要！
- ・三角形であること。（逆三角形は不安定！）
- ・段階的に積み上げる必要あり。（飛ばして進んでも、続かず失敗に…。）